

令和元年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「論理的思考力と質の高い授業づくりの力を高める校内研修」 越谷市立大沢北小学校

研究の概要

大沢北小学校研修テーマ

「思考力、表現力を育む学習指導の推進」～伝え合いから学び合い、みがきあい～

互いに尊重し、共に学び合う児童生徒の育成

『全員で取り組む、やりがいのある研修』

研修で高める2つの力

児童の力
『論理的思考力』

教師の力
『質の高い授業づくり』

- ①順序立てて説明できる子
- ②自分の思いを表現できる子
- ③相手の意見に反応できる子(リターン力)

- ①目標に迫り、児童の意欲を高めるめあて、課題の設定
- ②まとめと振り返りによる「深い学び」の見取り
- ③タイムマネジメントを意識した授業づくり

研究の取組

1 全体会での共通理解 論理的思考力を育成するための活動例や方向性を示し、共通理解を図ることで、「全員で取り組む、やりがいのある研修」にしました。

全体研修で具体的な姿を例示することで、共通理解を図り、ゴールを明確にしました。

授業の流れの統一化

つかむ
考える
伝え合う
まとめる
振り返る

1 往復半のリターン

ぼくは〇〇ということに気がきました。どうですか？

1往復のリターン

できる児童が増えました！

わかりました！いいと思います。なるほど！私も同じです。

ぼくは〇〇ということに気がきました。



なるほど。どこからそう思ったの？なぜそう考えたの？でも、〇〇って、△△じゃない？

なぜかという、〇〇のところに書いてあったからだよ。★★さんはどう思う？

1往復半(以上)のリターン

新たな問いが生まれることによりリターン力が深まっていく

主体的な学びの例



協定の充実



他者の考えに質問する場面



他者の考えを理解する場面

三角形と四角形について、どんな決められるのししかったです。

2 全員で行う指導案検討 質の高い授業づくりの力を高めるために、指導案検討を全員で行いました。指導案検討から指導法の工夫改善を行い、「全員で取り組む、やりがいのある研修」にしました。

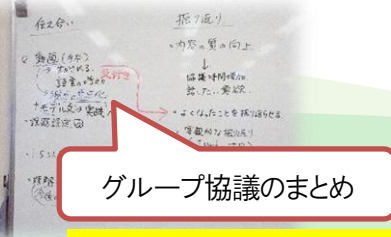
指導案検討の意見をホワイトボードに集約し、授業の視点を明確にしました。

・ヒントカードを頼りすぎるのではなく、自分の力でもできるようにしたい。 → 視点①
・ふりかえりのモデルを提示した方が書きやすいのでは。 → 視点②

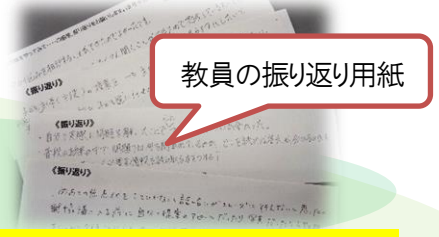
3 研修会でのまとめ・振り返り 質の高い授業づくりの力を高めるために、各種研修会では、全員でまとめと振り返りを行いました。研修会を通して「全員で取り組む、やりがいのある研修」にしました。



視点を明確にした授業研究



グループ協議のまとめ



教員の振り返り用紙

研究授業、理論研修の後に**教師自身が学びを振り返りました。**

4 研修だよりの発行 論理的思考力を働かせている児童の姿、質の高い授業の取組をまとめた研修だよりを週1程度で発行しました。研修だよりを通して、情報共有を図ることで「全員で取り組む、やりがいのある研修」にしました。

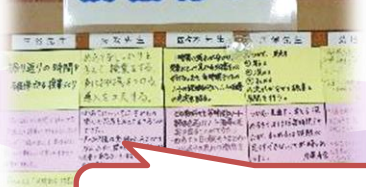
研修だよりの「ホップ・ステップ・ジャンプ!!」の掲載内容

- No.1 今年度の研修について No.2 リターン方向上について No.3 授業参観 No.4 効果的な発問と話し合い
- No.5 ホワイトボードを使ってみよう No.6 第1回授業研究会 No.7 ペア学習、グループ学習
- No.8 教師の話術 No.9 授業研究会まとめ No.10 1学期のめあて No.11 3年次研修 No.12 県学調
- No.13 小中合同研修 No.14、15 書籍紹介 No.16 2学期のめあて No.17 年次研修
- No.18 支援担当訪問 No.19 5年書写 文字の配列 No.20 文章を「まるごと」読む
- No.21 プログラミング教育 No.22 5年次研修 No.23 授業研究会まとめ



5 教員一人一人の指導力向上のために 質の高い授業づくりの力を高めるために、教員一人一人が毎学期目標を立てました。また、教職経験の浅い教員には月ごとの指導計画を立て、段階的な指導力向上に取り組みました。各自が実態に応じた目標を立てることで「全員で取り組む、やりがいのある研修」にしました。

授業力UP



校長室に掲示し、学期ごとに振り返り、新たな目標を立てます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標達成状況
<p>若手教員指導計画</p> <p>4月 表情、声、視線の配り方等、2年生に合わせて、配慮が見られる。授業の組み立てについて、今後一緒に考えていく必要がある。</p> <p>5月 児童の理解を促すために、教具を作成する等の工夫をする姿が見られる。導入で、児童の興味関心をひいたり、見通しを持たせたりするよう指導している。</p> <p>6月 少しずつ、教材や教具で、視覚的にも分かりやすくするための工夫が見られるようになった。指示の出し方に課題があるため、引き続き指導する。</p> <p>7月 4月に比べて、めあて・課題を意識した授業展開を行うようになってきた。しかし、そこにたどり着くための導入に課題があるため、指導していく。</p>				<p>研究の成果と課題</p> <p>校長室に掲示し、学期ごとに振り返り、新たな目標を立てます。</p>				<p>教員作成、導入、見通し、発問の工夫など、具体的な指導計画を立て、研修しました。</p>				

- 成果**
- 児童に論理的思考力を身に付けさせる研究を行ったことで、自分の思いや考えを表現できる児童が多くなった。埼玉県学力・学習状況調査においても「話す・聞く・書く」そして記述式の項目において伸びが大きく見られた。
 - 教師の質の高い授業づくりの力を高める研究を行ったことで、授業改善を図ることができた。児童に身に付けさせる力を明確にし、3つの重点を意識した授業づくりをする教員が増え、アンケート調査でも結果が表れた。
 - 全員で研修に取り組む雰囲気ができ、研修会の時だけでなく、日頃から授業の話をする教員が増えてきた。

- 課題**
- 児童の意欲と考えを引き出す効果的な声掛けと発問を行うことや授業の確実なタイムマネジメントに課題がある。今後は、教師のリターン力と授業展開力を磨き、単位時間、単元時間の中で児童の学力を確実に高める必要がある。

